

燃えつきない支援の継続について考える

～気長にあきらめず、多方向につながり続ける～

地域で活動するNPO・NGOなどの小さな市民組織や支援者が、個々の現場で経験している問題を、職種や分野の境界線を越え、情報を共有しあい、共に考える時間をもつことで問題解決への第一歩となればと考えています。



組織同士のネットワークづくり、組織内部での人と人とのつながりや健康管理など、燃えつきずに長く運営するためにどうすればいいかを一緒に探ってみましょう。

—記—

日時：2013年2月23日（土）

13時30分～16時30分

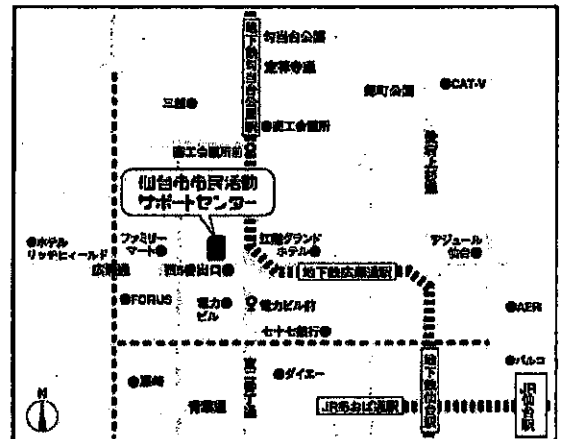
場所：仙台市市民活動サポートセンター セミナーホール

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

(TEL 022-212-3010)

テーマ：「周りの人たちとのつながりを大切にするために」

「心身面で困ったときどうするのか」などを予定



会場案内図

参加費：無料

※個々の問題点をとりあげた意見交換・グループワークを行う予定です。

※Facebook（フェイスブック）を利用した継続的な支援・ネットワークづくりも検討中です。

講師：・関谷剛一（一般社団法人トラウマリカバリーコミュニティ理事）

関谷企画代表（元 NPO 法人 J ステーション理事長、障害者就労支援相談所運営）

・湯本洋介（精神保健指定医、日本精神神経学会認定精神科専門医）

2006年、福井大学医学部卒業後、都立松沢病院臨床研修医を経て、
現在、都立松沢病院精神科常勤医。

・上岡陽江（一般社団法人トラウマリカバリーコミュニティ代表）

ダルク女性ハウス代表、精神保健福祉士

貧乏 NPO 運営 22 年。女性ならではの運営の苦勞を抱えつつ
金には恵まれなかったが人には恵まれ、うろろろなんとか生きのびる。

<お問い合わせ>

一般社団法人トラウマリカバリーコミュニティ事務局

(<http://trauma-recovery.jimdo.com/>)

E-MAIL : yutaka@social-ecology.jp

TEL : 0283-23-9758 FAX : 0283-27-7217



お申込み：裏面の参加申込書にご記入のうえ、メールかファックスにて、事務局までお送りください。

【一般社団法人 ト라우マリカバリーコミュニティ】

当法人は、東日本大震災によって心の傷を負った被災者のケアを中心に我が国におけるトラウマケアを研究、実践する活動を行い、障害者若しくは生活困窮者、又は事故、災害もしくは犯罪による被害者の支援を目的とした事業を行っている。2012年10月1日、東京・日本財団大会議室にて創立記念フォーラムを実施。テーマは「市民組織における燃えつき問題について考える～燃えつきは本当に個人の責任か?～」。

現在は、福島県内で、避難者・子ども・妊婦が「福島に安心して帰ってこれる未来を造る」復興地域活動を行う「NPO法人福島ライフエイド」の事業への支援を継続中。福島市、新潟市、山形市で活動する子育て支援施設の精神的ケア全般を担当している。

【仙台 DARC(ダルク)】

薬物(アルコール)に問題を抱えた人たちが、もう一度健康な生き方を取り戻すために、様々なプログラムを取り入れた、仙台を中心とした依存症の中間施設。

一般社団法人トラウマリカバリーコミュニティ

2013年2月23日 参加申込書

FAX 送付先 : 0283-27-7217

氏名			
住所	〒		
電話番号		メール	
所属団体			
活動内容		参加人数	
*あなたの団体の活動における悩み、問題点、障害になっていることなどを自由にお書きください。 当日の意見交換の参考にさせていただきます。			